### **「用語解説(上下水道共通)**

収益的収支 水道料金や下水道使用料に よる収入と、水を作ったり家庭に送っ たりするための維持管理経費、汚水を 処理したり、雨水を適切に排除したり するための維持管理経費などを中心と した営業活動の収支。

受託工事(事業)収益 依頼を受けて実 施する配水管や下水道管の移設などに よる収益。

長期前受金戻入 償却資産の取得または 改良に伴い収入する国庫補助金や工事 負担金などを「長期前受金」として負 債(繰延収益)に一旦計上し、その中 から当該年度の減価償却見合い分を収 益化したもの。収益として計上してい ますが、資金の裏付けはありません。

**人件費** 上下水道事業所で働く職員の給 与・賃金など。

減価償却費 施設の資産価値の減少分。 将来、老朽化した施設を更新するため の財源となります。

資産減耗費 廃棄する固定資産の残存帳 簿価額及び廃棄に係る費用。

支払利息 施設建設の際に借りたお金 (企業債)の利息。

受託工事(事業)費 依頼を受けて実施 する配水管や下水道管の移設などに要 する費用。

委託料 集金・検針業務や下水道管の点 検、システムの保守にかかる費用など。

修繕費 水道管や下水道管の修理や古く なったメーターの交換などにかかった 費用など。

動力費 浄水場やポンプ場のポンプなど を動かすための電気代や重油の購入費 用。

その他 水を作るために必要な薬品購入 費、納付書などの郵送料や手数料など の事務的経費。

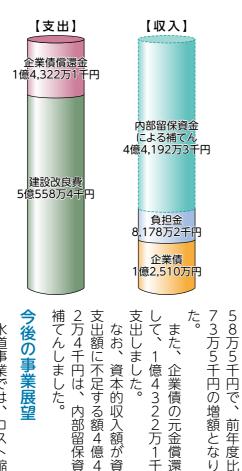
資本的収支 古くなった上下水道施設の 改良や新しい施設をつくるために必要 な資金の収支。

負担金(資本的収支) 建設または改良 工事のための工事負担金や新たに水道 水を使う時に支払っていただいた加入 分担金や給水装置負担金、下水道事業 受益者負担金など。

企業債 建設または改良工事の資金に充 てるためにする地方債(借入金)で、 民間企業における社債などがこれに当 たります。

※用語解説はP13に続く

### 資本的収<del>支</del>(<sub>税込み)</sub>



水収益は、 徹底して進めてきまが追事業では、コ 今後の事業展望 2万4千円は、 支出しました。 支出額に不足する額4 して、 なお、 また、 h しました。 資本的収 億4322万1 企業債の元金償還分と 9年をピークに減少傾節水機器の普及によ 内部留保資金で 入額が資本的 したが、 億 4 縮減を 内を 給 9

向が続い

ており

当時と比べる

平成9年をピー

の方針の検討と、財政収支シミ要となります。平成28年に監査要となります。平成28年に監査をがいます。平成28年に監査を打化が一気に進み、これを更をがしたが一気に進み、これを更をがした。 ュレーションを行の方針の検討と、法人に委託し、今要となります。平 全 水道施設更新に係る基本方針をは建設コンサルタントに委託し 年3月に改定を行 度に経営戦略を策定し、 この経営戦略に基づき、 安心な水道を長期に渡りいしました。これらにより ーションを行 に供給できるよう平成30年安心な水道を長期に渡り安しました。 これらにより安 平成29年

工事、

導水管布

設替工事

います (4 号

される中で、 さらに減少することが予想され らず大きく減少しています。と料金改定を行ったにもかか たる中で、給水収益は、今後全国的に人口の減少が予測 和50年 ? ら の ? まわ

どを行っ

建設改良費は5億5

中で、

前年度比96

ます

中で、

:増額となりました。 -円で、前年度比8993万円

支出については、

基幹管路の

老朽管の布設替・

改良な

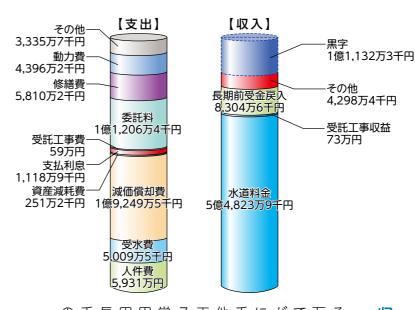
を実施-います。

して新島公共ふ頭配水管布設替路布設替工事、老朽管の更新と 北古田地区 添地区基幹管路等布設替工事、路の耐震化として西野添~上駅 令和7年度の主な事業予定 安定給水を図るため、 (第4工区) 基幹管 基幹管

開催 ために、 ました。議会の承認を得て令や料金体系について検討を行 年 4月か 水道料金の適正な水準 上下水道運営委員会を 5 水道料金の改定の承認を得て令和

根幹である給水収益を確保するの更新需要等を見据え、収益の

## 収益的収長 (<sub>税抜き)</sub>



# (税抜き)

<u>億</u>7

4

9

の純利益

(黒字)

を計上しま.

た。

ま 1367

した。

04万6千円を営業外収益に計のない「長期前受金戻入」83ただし、これは資金の裏づけ

は資金の裏づけ

長期前受金戻入は8304万6円の増額となりました。また、円で、前年度比4525万5千営業収益は5億5312万8千 他 により、 万9千円で、物価高騰対る水道料金収入が5億4 工事収益が73万円で、 て行った基本料金の減免対象月 -円を計上. 2、受託事業の減少により受託・円の増額となりました。その 03万3千 前年度と比べ減少した影響 前年度比5203万7 6) 円の減額となり、 物価高騰対策とし 前年度比24万円 前年度比 823

## 収益的収支

令和6年度は、 収入 八の柱であ

0万9千 8 した。

2 5 1

0万円で、

前年度比59

収入は、

企業債借入金が

億

万9千円 なったほか、委託料が1億12年度比569万2千円の減額と 06万4千円で、 より受託工事費が50万円で、前支出では、受託事業の減額に -円で、前年空心事業収入はく 円の増額となり 前年度比

す。

資本的収支

(税込み)

上したことが主な理由となり

ŧ

度比585万4千 5億6367万6千 54万6千円の減額、 697万4千円の増額となりま 4396万2千円で、 0万2千円で、 円の増額、 円の減額 前年度比フ 前年度比8 支出総額が 修繕費が5 前年度比 動力費が 前年

担金などが8178万2千円でとなる加入分担金や給水装置負

前年度比3043万4千円の

町の事業などに伴う工事負担金

60万円の増額となっ

たほか、

水道を新規に開設する際に必要

額となり、

合計2億6

給水原価とは、水1㎡を作るのに必要な費用 のことで、令和6年度決算では140.06円になり

した。

しかし、今後老朽施設の更新に伴い減価償却 費が増加し、給水原価が上昇する見込みです。

### 給水原価と供給単価

ででする。 で運営形態となっています。 つた運営形態とない、税金や国などの補助金などで運営される町の会計とは全く違立採算制」といい、税金や国などの補助金などで運営されています。これを「独さまからいただく水道料金により運営するように定められています。これを「独水道事業は、「地方公営企業」として法律により税金を使わずに、使用者の皆

支

や

「貸借対照表」

を作成して

また、

の2本立てで会計処理し、民間企業のたた、会計方式は企業会計方式をとって

民間企業のように財務諸表と呼ばなり式をとっており、「収益的収支」

れ لح

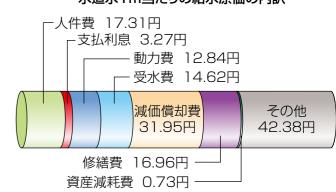
る

「損益計算「資本的収

ました。

一方で皆さまからいただいている 1 ㎡当たり の水道料金(供給単価)は、同決算では160.06 円となり、供給単価が給水原価を20円上回りま

### 水道水1㎡当たりの給水原価の内訳



令和6年度

問上下水道課☎079-435-2379

追事業の

水道事業は独立採算制